

平成16年12月期 第1四半期業績の概況（連結）



平成16年5月10日

会社名 日本マクドナルドホールディングス株式会社 登録銘柄  
 コード番号 2702 本社所在地都道府県 東京都  
 (URL <http://www.mcd-holdings.co.jp/>)  
 本社所在地 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号  
 問い合わせ先 責任者役職名 財務・経理担当及びIR担当執行役員  
 氏名 石田 正 TEL (03) 3345-8223

1. 四半期業績の概況等の作成に係る事項

- ①財務諸表等の作成に際して準拠した基準：中間連結財務諸表作成基準  
 ・会計処理方法の変更の有無：無  
 ・中間決算等と異なる会計処理の有無：有（法人税等の計上基準に簡便的な方法を採用しております。）  
 ②連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：無

2. 平成16年12月期第1四半期の連結業績（平成16年1月1日～平成16年3月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況 (百万円未満切り捨て)

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年12月期第1四半期	75,498 (△0.1)	1,686 (76.0)	1,710 (92.9)
15年12月期第1四半期	75,546 (—)	958 (—)	886 (—)
15年12月期	299,823 (△6.5)	2,842 (△27.9)	1,896 (△7.5)

	四半期（当期）純利益 （損失△）	1株当たり四半期（当期） 純利益（損失△）	潜在株式調整後1株当たり四半 期（当期）純利益（損失△）
	百万円 %	円 銭	円 銭
16年12月期第1四半期	560 (13.2)	4 22	—
15年12月期第1四半期	495 (—)	3 72	—
15年12月期	△7,121 (—)	△53 57	—

- (注) 1. 持分法投資損益 16年12月期第1四半期 16百万円  
 15年12月期第1四半期 △120百万円 15年12月期 △593百万円  
 2. 期中平均株式数（連結） 16年12月期第1四半期 132,959,902株  
 15年12月期第1四半期 132,959,902株 15年12月期 132,959,902株  
 3. パーセント表示は、対前年同四半期増減率及び対前年同期増減率を示しております。なお、当社は平成14年12月期より連結財務諸表を作成しているため、平成15年12月期第1四半期の増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年12月期第1四半期	197,937	138,908	70.2	1,044 74
15年12月期第1四半期	206,423	147,395	71.4	1,108 57
15年12月期	208,130	141,017	67.8	1,060 60

(注) 期末発行済株式数（連結） 16年12月期第1四半期 132,959,902株  
 15年12月期第1四半期 132,959,902株 15年12月期 132,959,902株

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャ ッシュ・フロー	投資活動によるキャ ッシュ・フロー	財務活動によるキャ ッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年12月期第1四半期	△13,297	△2,491	8,183	8,185
15年12月期第1四半期	△3,116	△2,771	1,425	8,770
15年12月期	11,567	△3,577	△5,432	15,789

### 3. 平成16年12月期の連結業績予想（平成16年1月1日～平成16年12月31日）

	売上高 百万円	経常利益 百万円	当期純利益 百万円
中間期	149,459	1,211	151
通期	305,064	6,505	2,870

(参考) 1. 1株当たり予想当期純利益(通期) 21円58銭

2. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

システムワイドセールス 前年比 1.1%増、連結経常利益 前年比92.9%増

当第1四半期の経済概況は、昨年後半以来続く企業業績の回復に牽引され、持ち直し傾向で推移いたしました。長く低迷していた個人消費・雇用についても企業業績回復の影響を受け、上向き傾向にあると考えられています。このように明るい兆しが見える一方、外食産業に大きな打撃を与える出来事が続いて発生いたしました。平成15年12月にBSE（牛海綿状脳症）感染牛が米国で発見され、それによる米国産牛肉輸入禁止措置は未だ続いております。また、当第1四半期初頭には国内外で鳥インフルエンザが発生し、これに伴う生産者や小売業者の不祥事等も発生いたしました。

このような厳しい状況下にあります。当社グループの基幹ビジネスである日本マクドナルド株式会社のハンバーガーレストラン事業は、昨年10月以降今年2月まで5ヶ月間、既存店売上高が前年同月を上回るなど、売上高が回復しつつあります。当第1四半期の既存店売上高に関しましては、対前年同四半期比で2.8%の増加となりました。これは、同社が掲げる3つの戦略的課題への取り組みが効果を挙げつつあるためです。3つの戦略的課題とは1)ブランドの再構築、2)店舗体験の向上、3)健全な経営基盤の確立であります。

まず第1のブランドの再構築については、昨年9月より行っているブランド戦略 **i'm lovin' it<sup>™</sup>** を継続しております。これは、単なるフードメニューの提供という意味を超え、「お客様が幸せを感じるものの中にマクドナルドもいたい」というメッセージを持ったブランド戦略で、同一のテーマの下、米国マクドナルドがグローバルに展開し、世界各国のマクドナルドがそのマーケットに適したマーケティング活動を推進しております。日本では、TVCMや店内のPOP類を **i'm lovin' it<sup>™</sup>** のコンセプトで統一し訴求しております。また、業界リーダーとして牛肉製品の消費を促進するため、fun(楽しさ)のあるハンバーガーキャンペーンとして「マックハンバーガーDay」を実施し、一日当たりの来店客数記録を更新(502万9,000人)するほど大きな反響を呼びました。2月に行ったハッピーセット「おじゃる丸」では、1日の販売個数として過去最高となる96万個の売上を達成しました。ブランド再構築の重要な柱として取り組む長期的なレギュラーメニューの強化では、3月8日に新商品「フィッシュ マックディッパー」を発売いたしました。当商品は、**i'm lovin' it<sup>™</sup>** の大規模なマーケティング活動により高い商品認知度を獲得し、これまでのところ客単価の引き上げに大きく寄与しております。その他、期間限定商品として「マックリブ」、「タマゴダブルマック・チーズタマゴダブルマック」の販売を行いました。更に、お客様に手頃な価格で商品を提供するバリュー戦略としましては、昨年7月より開始した「スマートセービング」の継続の他、強力な来店誘引策として、折り込みクーポンの計画的活用、ビッグマックセット¥390、チキンマックナゲット販売20周年記念5個入り¥100を戦略的に展開いたしました。

第2の戦略的課題である店舗体験の向上においては、昨年全店で展開した「60秒サービスキャンペーン」に続き、正確でフレンドリーなサービスにも焦点をあててサービスキャンペーンを行っております。更に、当第1四半期においては、商品の完成度を高め、お客様にベストな状態で商品を提供するためのプログラムを開始いたしました。特に、マックフライポテトの調理担当に「ポテトプロ」と名付けた資格制度を導入し、完成度の向上に努めています。

第3の健全な経営基盤の確立については、ビジネスインフラとして、店舗展開やサプライチェーンマネジメントの整備に積極的に取り組んでおります。既存店の営業力の強化を重視した活動としてリモデル・リフレッシュを231店舗に実施いたしました。また、当第1四半期における出店数はトラディショナル店舗（標準店舗）3店舗、サテライト店舗（メニュー限定小型店舗）4店舗の合計7店舗となりました。閉店数につきましてはトラディショナル店舗8店舗、サテライト店舗19店舗の合計27店舗となり、当第1四半期末の総店舗数は3,753店舗（前期末比純減20店舗）となっております。

以上のような活動の結果、当第1四半期のシステムワイドセールス（直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高）は979億79百万円（対前年同四半期比1.1%増）となりました。連結売上高については、754億98百万円（対前年同四半期比0.1%減）となっております。連結経常利益は17億10百万円（対前年同四半期比92.9%増）となりました。

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、81億85百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期において営業活動の結果使用した資金は132億97百万円（前年同期比326.6%増）となりました。これは主に希望退職者特別退職金の支払35億53百万円、経営役員契約解約金の支払62億49百万円、マック・ビジョン事業撤退に伴う支払11億92百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期において投資活動の結果使用した資金は24億91百万円（前年同期比10.1%減）となりました。これは、主に店舗設備等の取得による支出が28億5百万円あった一方、敷金・保証金の回収による収入が12億26百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期において財務活動の結果得られた資金は81億83百万円（前年同期比473.9%増）となりました。これは、主に借入金による収入が130億円あった一方、借入金の返済による支出12億50百万円及び配当金の支払による支出が35億66百万円あったためであります。

[当該四半期において経営成績および財政状態に重要な影響を与えた事象]

該当する事象は発生しておりません。

[業績予想に関する定性的情報]

現時点では、当初連結業績予測に変更はありません。

主力であるハンバーガーレストラン事業につきましては、最高の「QSC+V（信頼の品質、スピーディーで心地よいサービス、清潔で快適な環境、付加価値）」の提供を目指した活動を継続してまいります。

当社を取り巻く経営環境は、日本経済の回復とそれに伴う個人消費の回復基調を受け、少しずつではありますが改善されつつあります。その一方でBSEや鳥インフルエンザなどの懸念すべき事項も残っているなど、依然として予断を許さない状況にありますが、早期の業績改善に全力をあげてまいります。

< 添付資料 >

連結財務諸表

(1) 要約連結貸借対照表

区分	当四半期連結会計期間末 (平成16年3月31日)		前四半期連結会計期間末 (平成15年3月31日)		前連結会計年度末 (平成15年12月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)						
I 流動資産						
1. 現金及び預金	8,185		8,780		15,799	
2. 売掛金	6,864		7,055		7,796	
3. 有価証券	—		460		—	
4. たな卸資産	2,918		2,922		2,701	
5. 繰延税金資産	2,867		2,174		2,867	
6. その他	4,873		8,470		4,784	
貸倒引当金	△ 89		△ 43		△ 105	
流動資産合計	25,619	12.9	29,819	14.4	33,843	16.3
II 固定資産						
1. 有形固定資産						
(1) 建物及び構築物	89,041		93,455		89,521	
減価償却累計額	50,028	39,013	51,495	41,960	49,392	40,129
(2) 機械装置及び運搬具	17,380		17,584		17,262	
減価償却累計額	8,209	9,170	7,635	9,948	7,957	9,305
(3) 工具器具及び備品	20,822		22,479		21,077	
減価償却累計額	14,640	6,182	14,590	7,889	14,539	6,538
(4) 土地		16,839		16,569		16,840
(5) 建設仮勘定		9		6		25
有形固定資産合計	71,214	36.0	76,375	37.0	72,838	35.0
2. 無形固定資産						
(1) 営業権	921		853		1,018	
(2) その他	4,486		4,542		4,519	
無形固定資産合計	5,407	2.7	5,396	2.6	5,537	2.6
3. 投資その他の資産						
(1) 投資有価証券	11,032		6,737		8,808	
(2) 長期貸付金	91		832		94	
(3) 繰延税金資産	3,287		186		4,027	
(4) 再評価に係る繰延税金資産	1,924		1,992		1,926	
(5) 敷金・保証金	75,841		82,763		77,284	
(6) その他	5,305		4,379		5,695	
貸倒引当金	△1,789		△2,057		△1,927	
投資その他の資産合計	95,695	48.4	94,833	46.0	95,910	46.1
固定資産合計	172,317	87.1	176,604	85.6	174,287	83.7
資産合計	197,937	100.0	206,423	100.0	208,130	100.0

区分	当四半期連結会計期間末 (平成16年3月31日)		前四半期連結会計期間末 (平成15年3月31日)		前連結会計年度末 (平成15年12月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 %	金額 (百万円)	構成比 %	金額 (百万円)	構成比 %
(負債の部)						
I 流動負債						
1. 支払手形及び買掛金	13,542		12,693		16,647	
2. 短期借入金	13,000		4,000		—	
3. 1年以内返済予定長期借入金	5,000		4,000		5,000	
4. 未払金	8,862		8,116		22,867	
5. 未払費用	6,527		6,621		6,532	
6. 未払法人税等	526		618		207	
7. 賞与引当金	3,154		2,737		860	
8. 店舗閉鎖損失引当金	205		4,551		646	
9. 関係会社事業整理損失引当金	250		—		800	
10. その他	4,411		3,929		8,564	
流動負債合計	55,481	28.0	47,268	22.9	62,126	29.8
II 固定負債						
1. 長期借入金	500		5,000		1,750	
2. 繰延税金負債	165		1,264		—	
3. 退職給付引当金	688		778		1,001	
4. 役員退職慰労引当金	53		2,514		42	
5. その他	2,139		2,202		2,193	
固定負債合計	3,547	1.8	11,759	5.7	4,986	2.4
負債合計	59,028	29.8	59,027	28.6	67,113	32.2
(資本の部)						
I 資本金	24,113	12.2	24,113	11.7	24,113	11.6
II 資本剰余金	42,124	21.3	42,124	20.4	42,124	20.2
III 利益剰余金	69,639	35.2	80,689	39.1	73,070	35.1
IV 土地再評価差額金	△ 2,805	△1.4	△ 2,745	△1.3	△ 2,808	△1.3
V その他有価証券評価差額金	5,837	2.9	3,214	1.5	4,518	2.2
VI 自己株式	△ 0	△0.0	△ 0	△0.0	△ 0	△0.0
資本合計	138,908	70.2	147,395	71.4	141,017	67.8
負債及び資本合計	197,937	100.0	206,423	100.0	208,130	100.0

## (2)要約連結損益計算書

区分	当四半期連結会計期間 (自平成16年1月1日 至平成16年3月31日)		前四半期連結会計期間 (自平成15年1月1日 至平成15年3月31日)		前連結会計期間 (自平成15年1月1日 至平成15年12月31日)	
	金額 (百万円)	構比 %	金額 (百万円)	構比 %	金額 (百万円)	構比 %
I 売上高	75,498	100.0	75,546	100.0	299,823	100.0
II 売上原価	65,461	86.7	66,570	88.1	261,876	87.3
売上総利益	10,037	13.3	8,975	11.9	37,946	12.7
III 販売費及び一般管理費	8,350	11.1	8,017	10.6	35,104	11.8
営業利益	1,686	2.2	958	1.3	2,842	0.9
IV 営業外収益	402	0.5	364	0.5	1,479	0.5
V 営業外費用	378	0.4	436	0.6	2,424	0.8
経常利益	1,710	2.3	886	1.2	1,896	0.6
VI 特別利益	51	0.0	498	0.6	1,465	0.5
VII 特別損失	699	0.9	77	0.1	15,408	5.1
税金等調整前四半期 (当期) 純利益 (損失△)	1,062	1.4	1,307	1.7	△ 12,046	△4.0
法人税等	502	0.7	812	1.0	△ 4,924	△1.6
四半期 (当期) 純利益 (損失△)	560	0.7	495	0.7	△ 7,121	△2.4

## (3)要約連結キャッシュ・フロー計算書

	当四半期連結会計期間 (自 平成16年1月1日 至 平成16年3月31日)	前四半期連結会計期間 (自 平成15年1月1日 至 平成15年3月31日)	前連結会計期間 (自 平成15年1月1日 至 平成15年12月31日)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>			
税金等調整前四半期 (当期) 純利益 (損失: △)	1,062	1,307	△ 12,046
減価償却費	2,527	2,138	8,679
引当金の増減額 (減少: △)	2,126	1,730	△ 1,912
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (減少: △)	△ 169	△ 117	△ 1,855
未回収商品券収入	△ 43	△ 35	△ 141
受取利息及び配当金	△ 29	△ 24	△ 206
支払利息	15	27	110
持分法による投資損益	△ 16	120	593
関係会社事業整理損失	—	—	2,461
固定資産除却損	152	182	1,974
売掛金の増減額 (増加: △)	884	2,031	1,290
たな卸資産の増減額 (増加: △)	△ 216	△ 66	154
フランチャイズ店舗の買取に係る営業権 の増減額 (増加: △)	97	△ 74	△ 324
その他の資産の増減額 (増加: △)	224	△ 767	△ 2,218
買掛金の増減額 (減少: △)	△ 300	△ 1,140	△ 631
支払手形の増減額 (減少: △)	△ 2,804	△ 2,194	1,251
未払費用の増減額 (減少: △)	△ 5	△ 184	△ 247
その他の負債の増減額 (減少: △)	△ 5,653	△ 5,530	12,683
その他	33	△ 5	327
小 計	△ 2,114	△ 2,602	9,940
利息及び配当金の受取額	14	2	139
利息の支払額	△ 13	△ 133	△ 242
希望退職者特別退職金の支払額	△ 3,553	—	—
経営役員契約解約金の支払額	△ 6,249	—	—
マック・ビジョン事業撤退に伴う支払額	△ 1,192	—	—
法人税等還付金の受取額	—	—	3,541
法人税等の支払額	△ 189	△ 383	△ 1,810
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 13,297	△ 3,116	11,567
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
預金期間が3ヶ月を超える定期預金の払戻	10	—	—
店舗設備等の取得による支出	△ 2,805	△ 3,196	△ 7,809
店舗設備等の売却による収入	172	129	1,296
投資有価証券の売却による収入	—	—	55
投資有価証券の満期償還による収入	—	—	460
関係会社株式・出資金の取得による支出	—	△ 92	△ 105
敷金・保証金の差入れによる支出	△ 118	△ 218	△ 745
敷金・保証金の回収による収入	1,226	1,316	6,217
貸付金の貸付による支出	—	△ 41	△ 68
貸付金の回収による収入	2	39	207
関係会社への貸付による支出	△ 550	△ 350	△ 1,700
情報システムの開発による支出	△ 433	△ 354	△ 1,371
その他	4	△ 2	△ 13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,491	△ 2,771	△ 3,577

	当四半期連結会計期間 (自 平成16年1月1日 至 平成16年3月31日)	前四半期連結会計期間 (自 平成15年1月1日 至 平成15年3月31日)	前連結会計期間 (自 平成15年1月1日 至 平成15年12月31日)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	13,000	4,000	—
長期借入による収入	—	6,000	6,000
長期借入金の返済による支出	△ 1,250	△ 5,250	△ 8,000
関係会社からの長期借入れによる収入	—	—	500
配当金の支払による支出	△ 3,566	△ 3,324	△ 3,932
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,183	1,425	△ 5,432
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0	0
V 現金及び現金同等物の増加額 (減少額：△)	△ 7,603	△ 4,462	2,557
VI 現金及び現金同等物の期首残高	15,789	13,231	13,231
VII 現金及び現金同等物の期末残高	8,185	8,770	15,789